MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

Cisco Meraki（ネットワーク&Wi-Fi）導入事例
あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）様



中四国最大級の多目的アリーナに、Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワーク・Wi-Fiを採用 多様な催しを支える通信環境と安定運用を実現

2025年2月に開館した、あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）。最大1万人を収容するメインアリーナを核に、サブアリーナや武道施設を備えた中四国最大級の多目的アリーナです。同施設は開館にあたり、Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを導入しました。屋内用アクセスポイント67台による館内Wi-Fi環境を整備し、クラウドによる一元管理と「見える化」により、多様な催しを支える通信環境と安定した運用を実現しています。

Contents Index

背景・課題	1万人規模から会議室利用まで、多様な用途に応える通信環境の整備をめざして
検討～導入	多様な要件に応えられるCisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを採用
活用効果	クラウドによる見える化で、安定運用と的確な状況把握を実現
今後の展開	利便性の維持・向上と、AI時代も見据えた発展を目指す

香川県教育委員会事務局 保健体育課 県立アリーナ管理運営室 主任の池尾直樹氏と、指定管理者・香川アリーナコンソーシアムで運営課長を務める友国崇氏に、お話を伺いました。



香川県教育委員会事務局
保健体育課 県立アリーナ管理運営室
主任 池尾 直樹氏



指定管理者
香川アリーナコンソーシアム
運営課長 友国 崇氏

User Profile

あなぶきアリーナ香川

あなぶきアリーナ香川
（香川県立アリーナ）

所在地：香川県高松市サンポート6番11号
開　館：2025年2月

URL:https://kagawa-arena.com/

概要:
JR高松駅から徒歩約4分、瀬戸内海を望むサンポート高松に立地する中四国地域最大級の多目的アリーナ。最大1万人を収容するメインアリーナ、サブアリーナ、武道施設で構成され、スポーツ大会やコンサート、学会・展示会など多様な催しの拠点となる。建築家ユニットSANAAによる設計が高く評価され、2025年12月にユネスコの「ベルサイユ賞」2025年スポーツ部門で最優秀賞を国内初受賞。

MELSC
三菱電機システムサービス株式会社

背景・課題　1万人規模から会議室利用まで、多様な用途に応える通信環境の整備をめざして

施設の成り立ちと、目指した姿をお聞かせください。

池尾氏：「あなぶきアリーナ香川は、2014年に閉館した旧・香川県立体育館の後継施設として構想がスタートしました。コンサートや各種スポーツ、交流の場として、多目的な活用を目指した施設です。開館後は大規模なライブイベントやスポーツなど、さまざまな用途でご利用いただいています。会議室単位でお貸しすることもあれば、大きなイベントでは、ほぼ全館を控室やスタッフの作業場所としてご利用いただくこともあります」



ネットワーク整備にあたって、もっとも重視されたことは何でしょうか。

池尾氏：「主催者や来場いただく方々にとって快適な通信環境を整えることが最大の目的でした。これまでの体育館や文化センターよりもさらに大規模な運営となり、持ち込まれるデバイスも多彩で数も桁違いです。そのため他県の先進施設を視察するなどして、どういった通信環境整備が必要か、模索を重ねました」

こうした狙いは、詳細な要求仕様に落とし込まれた。運用管理者用·イベント主催者及び来場者用·一般開放用という3つの回線を想定し、最大1万人規模でも安定して利用できること、少人数の会議室から高密度なアリーナまで環境に応じて最適に利用できること、フリーWi-Fiのセキュリティ、将来の拡張性も求められた。さらに、目に見えない無線であるからこそ、トラブルへの備えも重視された。

池尾氏：「無線は目に見えないものですから、万が一何かトラブルがあった際、指定管理者を通じてすぐに状況が伝わり、迅速に対応いただける体制であることも、欠かせない要件でした」

検討〜導入　多様な要件に応えられるCisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを採用

業者選定では、どのような点を評価されましたか。

池尾氏：「選定は一般競争入札で行ったのですが、県として初の大規模施設ということもあり、各社から多数ご参加をいただきました。そのなかで落札されたということで、提示した仕様書をしっかり読み込んだうえで、当施設に必要な設備やリソースを見極め、ご対応をいただいたものと受け止めています」

本施設のネットワーク整備は、建物本体の工事とは個別に発注。契約は2024年6月、竣工は同年11月末、開館は2025年2月24日。わずか3か月ほどの短い工期だった。

池尾氏：「新築プロジェクトのため、予期せぬことで工期が前後することは起こり得ますが、開館日はなかなか動かせません。契約後から綿密に打ち合わせを重ね、建物が竣工した後は、連日、現場で作業を進めていただきました。現場で発生した想定と異なる事態にも臨機応変に対応いただけて、本当に助かりました」

採用されたのは、Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワーク。屋内用Wi-Fi 6のアクセスポイント3機種・計67台とL2/L3スイッチで構成し、Merakiダッシュボードを用いてクラウドから一元管理する。導入にあたっては、MELSC（三菱電機システムサービス）と、無線・通信分野で豊富な実績を持つ地元企業の三電計装が、事前の机上計算でアクセスポイントの配置を綿密に設計。県が求めるエリアを確実にカバーできるかを検証し、設置後の現地測定と調整を経て最適化を図った。



池尾氏：「事前の設計データをもとに、実際に現場で電波状態を測定しながら設置場所を細かく調整いただきました。最高天井高27.6mに達するメインアリーナの上部など、特殊な場所も安心してお任せできました」

アリーナ上部のキャットウォーク（天井部の点検通路）への給電は、LANケーブルを通じて給電するPoE（Power over Ethernet）で対応。最高天井高27.6mに達する高所から、広いフロアと全観客席まで、隙のないカバーエリアを実現している。

活用効果

クラウドによる見える化で、安定運用と的確な状況把握を実現

施設の運営を担う指定管理者「香川アリーナコンソーシアム」は、４社で構成される。代表企業の穴吹エンタープライズは、香川・徳島・岡山で公共施設の指定管理を数多く手がけてきた公民連携（PPP）事業のプロフェッショナルだ。

開館後の運用は、いかがでしたか。

友国氏：「開館直後の３月、１万人規模の大きなコンサートが開催されました。県内では恐らく初となる大規模な室内イベントであり、私自身もこれまで2,000人規模の県民ホールでの運営経験はありましたが、規模が約５倍ということで非常に緊張しました。主催者側の運営スタッフも100名規模ですし、さらに県外・全国から大勢のお客様が来場されましたが、大きな混乱なく無事に開催することができました。主催者様も交え、事前に入念な打ち合わせやテストを重ねた成果だと捉えています」

このコンサートでは、想定を超える負荷も経験されたそうですね。

友国氏：「主催者側で使われる端末数が想定を上回り、急遽、接続台数の設定を強化する必要に迫られました。短時間にアクセスが集中するコンサートと、数日間にわたり人の出入りが続くスポーツイベントとでは、Wi-Fiの使われ方がまったく違うなど、実際に運用して初めてわかることも多く、そうした経験値を一つひとつ積み重ねているところです」

運用における、Merakiクラウド管理の利点をお聞かせください。

友国氏：「Merakiのダッシュボードは、各アクセスポイントの状況をビジュアルで直感的に把握できます。これまでは、通信環境の良し悪しは、ご利用者の主観的なご意見に頼らざるを得ませんでした。『つながりにくかった』というお声をいただいても、具体的にいつ、どの場所で、何が原因だったのか特定が困難でした。Merakiであれば視覚的なデータとして把握でき、お客様のご意見の裏付けが取れることで、的確な状況把握と具体的な環境改善につなげることができます」

MELSC/三電計装によるサポート体制については、どうお感じですか。

友国氏：「県の許可のもと、遠隔からでも稼働状況を見守っていただいています。万が一不具合が見つかればすぐに連絡いただけますし、大規模なイベントを控え、通信の負荷の高まりが予想される際には、事前に連絡を取り合ってあらかじめ対策が取れるようにしております」

所管する県のお立場で、運用の安定性はいかがでしょうか。

池尾氏：「実際に運用を行っている指定管理者と連携して、MELSCさんと三電計装さんは何かあればすぐに現場へ来ていただけますし、整備内容の確認などにも迅速にご対応いただいています。開館以来、不具合らしい不具合は起きておらず、大変満足しています」

開館から１年余りが経過しました。現状の運用の手ごたえを教えてください。

友国氏：「現在は、イベントごとの通信利用状況をデータとして蓄積している段階です。この積み重ねが、今後の運用改善に活かせる期待があります」

なお、MELSC/三電計装は、同施設において、催事案内用のデジタルサイネージ（大型ビジョンを含む計80式）のシステム整備も別途手がけている。壁で仕切らない開放的なメインアリーナは案内表示を掲げる場所が限られるため、このデジタルサイネージが入場口から客席までの来場者導線を導く役割を担い、通信基盤と共に施設の利便性を支えている。



今後の展開

利便性の維持・向上と、AI 時代も見据えた発展を目指す

今後の展望をお聞かせください。

池尾氏：「ネットワークもデジタルサイネージも、来場いただく方々の利便性のためのもの。開館前はさまざまな不安もありましたが、事前の想定以上に皆さまにお喜びいただいていると感じています。まずはこの状態をしっかり維持し、何かあれば迅速に対応することを、一番に考えています」

MELSC/三電計装への期待について、お聞かせください。

友国氏：「情報インフラもサイネージも、今や『あって当たり前』の存在です。それを滞りなく提供するのが、私たちの務めです。そのうえで、今回MELSC/三電計装さんとご一緒したことで、先々のシステムや展望を相談できる相手ができたと、ありがたく感じています。AIをはじめ、通信にまつわる変化は早い。これからも新たな課題を二人三脚で解決していけたらと期待しています」

最後にメッセージをお願いします。

池尾氏：「この素晴らしいアリーナを通じて、香川県をもっと知っていただき、たくさんの方に来ていただきたいと考えています。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしています」

三菱電機システムサービスが導入した製品

クラウド管理ソリューションMeraki

■ Wi-Fiアクセスポイント
- MR28-HW
- MR46-HW
- MR46E-HW

■ スイッチ
- MS355-48X2-HW
- MS130-24P-HW
- MS130-8P-HW　　ほか

クラウド管理により、ネットワークの利用状況や、
システム障害などを遠隔から確認することができます。





Cisco Merakiは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

三菱電機システムサービス株式会社
www.melsc.co.jp/
〒140-0005 東京都品川区広町2-1-21
OIMACHI TRACKS BUSINESS TOWER 8階

【お問合せ先】
映像情報通信事業推進センター
ネットワークシステム事業推進部
東京都品川区広町2-1-21 OIMACHI TRACKS BUSINESS TOWER 8階
TEL:03-6451-8802

X905302608-001（IP）

お断りなしに記載内容を変更することがありますので、ご了承ください。

2026年 9 月作成